

所属	総合政策学部	身分	教授
氏名	保坂 俊司		
NAME	Shunji Hosaka		

1. 研究課題

(和文) ~~インドの近代化とシク教徒の役割~~ ^{インドにおける} (シク教徒の倫理と近代化の関係性の研究)

(英文)

a study on the relation with Sikh ethics and its modernization in India

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 200 字程度)

(和文) ^{経済発展} 21世紀に入り BRICS として ^{注目を浴び} 注目を浴びるようになったインドは、^{1920年代} 1920年代から ^{経済的} 経済的に著しく発展を遂げた。その中でシク教徒は、早く近代化 ^{に際して} 近代化に際して、他の宗教に比べて、これを達成させてきた。更にインドの近代化に伴って近代産業化の過程でシク教徒の果たした役割は、非常に大きい。しかしながら、その役割は、今までは十分に評価されておらず、知られておらず、知られていない。そこで、本稿は、^{シク教徒} シク教徒を中心に宗教倫理と経済倫理、あるいは経済発展との関連を研究して見た。今回シク教徒の中心にインドの近代化の背景にある倫理思想の解明を行い、その倫理観と現実社会の行動規範の関連性について、海外のインド人、特にシク教徒の海外進出者、若しくは東南アジア地域のシク教徒を調査し、考察した。その成果は、口頭発表論文の一部にまで進んで来た。学際発表において、21世紀のインド人口の約2%、約200万人のシク教徒がインド人の海外進出者の主要な理由として、西アフリカや東アフリカにおいてシク教徒の進出が、地域の経済発展の重要性は、明らかにしている。自身の独自の倫理観と行動規範が、経済発展の力に、今回他の宗教(仏教、ヒンドゥー教)と比較して、明らかにした。と、シク教徒の役割を述べた。

(英文) According to Arthur Lewis, that religious system especially its ethics can be regarded consistent with requirements of economic development which lays stress upon material values, upon work and productivity, upon thrift and productive investment, upon honesty in commercial relationships, upon experimentation and risk bearing and upon equality of opportunity. The Sikh religious ethics has been ~~examined in terms of~~ contributed not only to social developing but also Indian modernization since 19th.

4. おもな発表論文等 (予定を含む) I had made cleary on this point in this plogua

【学術論文】(著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月)

保坂俊司 著 「十一ヶ世紀における中央アジアの文化」
梶井垣 編 『中央アジアの文化と社会』 中央大学出版部,
2011.3.31, 97-120pp-3

保坂俊司 (単) 「仏教における循環思想と近代」(任) 染谷道正 編
『東洋近代文明論』(東海大学出版会) 2012年 夏(予)

【学会発表】(発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月)

保坂俊司 (単) 「仏教における循環思想」 日本比較文化学会 29回大会
中央大学春日校, 2011.11.19, 20.

【図書】(著者名、出版社名、書名、刊行年)

【その他】(知的財産権、ニュースリリース等)

~~保坂俊司 「八ヶ岳文化研究会」 2012.11.26 (八ヶ岳文化研究会)~~
~~(日本文化の比較研究)~~